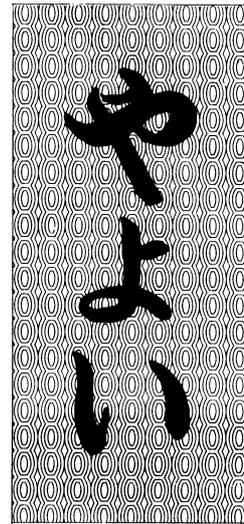




総会模様



発行責任者  
都立向丘高校同窓会  
会長 小川力洋  
編集 広報委員会  
事務局  
東京都文京区向丘1-11-18  
向丘高校内  
TEL 3811-2022  
FAX 3812-4055

### 躍動あらたに

会長 小川 力洋



新しい年を迎えられ、各位に心からお慶び申し上げます。

一昨年の総合名簿発行に当りましては、多数のご協力とご理解を戴きました。お陰様で無事刊行できました。誠にありがとうございます。これは、私に課せられた最大の関門でありました。時には利益主義の業者任せ等の非難がありました。いずれにしましても、我が同窓会への「リスク」を最少に止め、最大の効果を狙うことが必至でありました。その点から鑑みて私は、専門業者(関西廣済堂・担当者)に対しまして、お礼を申し上げます。

第一回ホームカミング(学校訪問)と銘打ちまして平成三年一月二十六日(土)、校長室において、

#### 定期総会・懇親会開催

池永武昭新校長(名誉会長)

新城 昇前校長(顧問)に

四月二十九日(みどりの日)は定例総会日です。午後一時から母校体育館にて、先生方(客員)、会員百余人が参加して開催、折から両校長先生の歓送迎会ともなりお料理とゲームで満喫しました。

新城昇校長(現在顧問)先生を中心、現役・OB諸先生方への呼び掛けをしました。他方会員に對しましては、主に、毎日新聞に掲載された「恩師・聞こえてくるあの声」と題しまして、向丘版が企画されました。その際、広告欄にお名前を掲げて下さった同窓生を中心に、合わせて二五〇通を発送しました。

ご出席願った先生方は、石章二郎・田中 修・橋本 力・中荏久男・水山 清・松並 滋の諸氏でありました。会員では第四期の関岡(東野)節子氏から第三十五期の菅原義則氏まで二十七名が出席して下さいました。

詰め込んだ感のある校長室で、文字どおり膝突き合せての親しみ溢れる中、会長、校長先生とそれぞれに、同窓会は永遠なり・人の繋がりの重要さ・奇縁さについて等のご挨拶があり、続いて自己PR会となりました。職業は大学・高校の先生、弁護士、税理士、会社員、社長と様々ですが、向丘の現状・将来(校庭の拡張・校舎の建替・進学問題)等について談論風発、懐かしい一時と、食事会の小宴、新年会となり、歓談は大輪を咲かせてくれました。

今後、この会を恒例化して本会の事業活動として継続することを決定しております。これらが定着して、当会の根底を上げ、さらに大樹となるべく躍動を興そうではありませんか。各位の母校への情熱を期待してやみません。

「人との出会い」を大切に

校長 池永 武明



四月一日付で本校に赴任しました池永武昭です。前校長の新城昇先生同様よろしくお願い申し上げます。

入学式後、小川力洋同窓会長にお会いし、「やよい」創刊号、同窓会総合名簿を頂き、引き続き同窓会の活動状況等について説明を受けました。会長を中心に、各役員が一致団結し、会の運営に当たっているのを目のあたりにし、敬服しています。

本校は、平成九年に創立五十年の節目を迎えます。創刊号にも前校長新城昇先生が十年先の展望を記述されていましたが、二十世紀を目前にし、社会のニーズに因應するような特色ある学校づくりに邁進していく覚後でございます。

校舎の全面改築や、施設・設備の拡充は勿論ですが、一方で生徒が、未来に向かって明るい希望と展望をもち、心身ともに健康で生き生きとした生活を送り、知性と感性に富んだ人間性豊かな社会のよき形成者として成長してもらいたいと願っています。

何事にも基礎・基本を大切に「人間として、あたりまえのこと」がごく自然にできるように「させたい」と思います。

特に勤労・生産活動や社会参加の体験が不足していますので、卒業生の皆様の貴重な体験を是非とも後輩に聞かせて下さい。

世の中は広いようで狭いものです。向丘高校に学んだという共通の出会いを大切に、一万三千余名の卒業生と在校生が一体となつて、共に発展していくことを期待しています。

同窓会は役員だけのものではありません。会を活性化させるためには、同窓会活動に関心を寄せ、反応することです。総会の案内があったならば返事を出す。クラス会・同期会を充実させ、近況を「やよい」に投稿し、常に役員の立場にたつて行動しようではありませんか。

母校だより

(一) 職員の異動

平成三年三月末日をもって左記の先生方が異動されました。

① 定年退職

新城 昇校長 ↓筑波大同窓会  
塚田哲男教諭(社会)

↓本校嘱託員  
福島 勉事務長 ↓(勸)東京都体育協会事務局

藤本一男用務主事  
↓ 転任

菅原 司教諭(国語)

松並 滋教諭(英語)  
↓大泉学園高校

佐藤正和教諭(保体)  
↓高島高校

↓板橋高校

松井幹雄教諭(教体)  
↓江戸川高校

新井和好警備主事  
↓文京高校

荒 一郎用務主事  
↓紅葉川高校

③ 新任

安野 徹教諭(国語)  
↑新島高校

藤崎英喜教諭(社会)  
↑城東高校

坂本弘幸教諭(保体)  
↑武蔵丘高校

栗原鏡成教諭(保体)  
↑城東高校

相馬佳子教諭(英語)  
↑第三商業高校

湯浅征司事務長  
↑白鷺養護学校

齊藤英樹用務主事  
(新規着任)

(二) 進路状況(含浪人合格者総数)  
平成二年度

国立短期大学

私立短期大学

専修各種学校  
就職(含公務員)

(三) 学校行事  
第一学期

遠足(5月)、陸上記録会は会場の都合で中止

第二学期  
向陵祭・体育祭(9月22、23日)  
修学旅行(11月)

クローン(12月)

担当 千葉豊教諭

3213838 0 72 1  
合計 281名

益々万進の一元会

顧問 原 隆男

去る九月二十三日、剣道部の一元会総会に出席し、誠に感銘を深く致しました。この会は、もともと、剣道部の先輩、卒業生のOB会として、浅見先生のご尽力により、私の在職中、発足したもので既に十五、六年になるものですがこの日、模範試合や紅白試合など卒業生もまじえ、現在の剣道部の生徒達が、男女それぞれ、実に立派に、日頃鍛えた腕前を發揮しました。その上、更に驚きましたのは、校長であられた平塚先生が、客員顧問の大村先生を相手に、大日本剣道形を始め、古流小野派一刀流に基づく五行の形などを、真剣の大刀、小刀を使われ、見事に演ぜられたことでした。なみいる生徒、卒業生はもとより、当日出席されたご父母の方々、さらに、ご観覧の池永校長先生、同窓会長小川力洋氏なども、大変感銘を受けられた様子でした。これは、言うまでもなく、いづれも、浅見先生の、実に長年にわたる、毎日毎日のご指導の結果と思えますが流石に先生も、ご満足の様子でした。実は、前もって、既に先生から、この日の諸計画につき、誠に綿密なご報告があり、先生の並み成らぬお気持ちは、私にも察せられて居りました。しかし、実際にその場に臨んでの感銘はまた別なものがありました。思えば、

### 平和の鳥ぞわが姿

顧問 平塚 寛次

自由の空をかけりゆく  
平和の鳥ぞわが姿  
世界につづく友愛の  
道遥かなり……

向丘高校同窓会の皆さんは、この文言を幾たび歌ったことであろうか。母校のなつかしい校歌の一節であります。作詞者、勝承夫氏は実にみごとに将来を見通しておられました。私は、この歌をうたうたびに心からそう思います。ところで、昨今は、かつて人類が経験したことのないようなスピードで連日のように変化する世界の国々の様相が報道されています。わけても、ドイツの、そして、ソ連の動向には目をみはるものがあります。まさに、地球上の人々は連帯して生きる必要に迫られています。どの国であれ、他の国々と無関係では生きていけない情勢になってきております。

十何年前、浅見先生の言われた『武はひとつ、一元でなくてはならない』

あの精神が、このように発展して来たものかと、感慨の深いものがあります。明治の昔から、青年教育のメッカと言われるこの本郷、天下の向丘に「文武一元」の精神の、いよいよ咲き匂わんことを心からお祈りして止まない次第です



総会での先生方と会長(左から二人目)

### 向丘同窓会の活性

顧問 新城 昇

この三月に都立高校・向丘を最終の勤務校として、定年退職となった。この四年間、小川会長はじめ同窓会の多くの役員の方々には向丘高校創立以来初の同窓会名簿の発刊という、大仕事を通して楽しくおつき合いをいただいた。心からの感謝を申し上げます。

四月から、新しい職場として再就職のお誘いを受けたのが、母校、東京教育大現在筑波大の同窓会であったのは、不思議な巡り合わせとされている。しかも仕事は、会員四万名の同窓会名簿の作成であり、同窓会員の消息調査・同窓会誌の編集という内容である。

事務所にはM社のワークステーションが設置され、十万名のカードまで処理できるハードディスクを外装している。会員や友人、全国で八十一の支部から送られてくる様々な個人情報データをキーボードで打ち込む。

G社開発のソフト「MEIカード」は不完全なマニュアルで、しかも設計は不親切である。とても、一太郎のようなわけにはいかない。「とにかく覚えろ」の先輩のご命令で何とかミス入力も少なくなつた頃に、筑波大の職員録が届けられた。昇進された方々の情報を入力する。

「応用生物化学系教授・田中秀夫」キーボードを打つ指が止まる。向

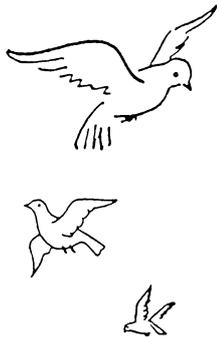
丘高校の卒業生で筑波大助教授。私の在任中、突然校長室に来られ、「向丘高校の生徒が筑波大に来ない。校長さん、どうしてるんだ!」と怒鳴りこんだ御仁だ。早速お祝いの電話をかける。

訃報が入る。講座後輩のS君である。肝臓癌だそうである。早速恩師に連絡をすると、思いがけない先輩・後輩の近況が判明してくる。S君はB型肝炎に感染したのが命取りになったということである。

毎年、物故者の冥福を祈って、同窓会館で合同慰霊祭が行われる。北は北海道から南は沖縄まで。今年には百五十八人の御遺族とその友人が参加された。大学の同窓会としては珍しい、心のこもった行事である。

同窓会の活性化は、同窓会員の共感を得てこそ成功する。そして、成功すれば同窓会の価値も高く評価されてこよう。

母校を誇る者よ! 全員集合! 母校を育てる者よ! 全力傾倒! 個人情報を事務局へ! 同窓会名簿はあなたの有力な名刺だ!



必要であり、しかもそれは「平和の鳥」の姿でなければならぬことを思いしらされます。この世界に羽ばたく数多くの「平和の鳥」も、ときには古巣に戻って羽を休め、ほのぼのとした心の温もりを養う必要がありましよう。それが**母校の同窓会**だと思っております。そうしたい思いに浸るためにも、会長さんをはじめ幹事の皆さんが工夫をこらしておられることをよく承知しております。年に一度の総会にはぜひ多数ご出席いただきたいと思っております。

朋有り遠方より来たる、また  
た  
楽し  
から  
ずや  
い  
もの  
と心  
から  
念願  
して  
おり  
ます

# 母校への思い

## 卒業生からの投稿

### 「虚と実」

匿名投稿

母校を卒業して既に二十二、三年を隔ててしまった。自分の境遇環境から振り返ってみると、勉強で今日まで生きてきた。年をとった現在も正にそうである。年をとったせいも、むしろ机で座っている。勉強量が一層過激になってきている。一生で一番苦しかった時期……それは私にとって『向丘の三年間』である。『その苦しかった三年間』があるので、現役で、ある国立の大学に入学ができた。また、そのお陰で、今でも全ての物・事にも頼らずやっていける自信がある。三十才になった頃からだと思いが司法を研究していたのも重なり『虚と実』ということとを常に脳裏を通じて考えることにしている。特に最近この『虚と実』という概念を絶えず頭に入れ

ておかないと、油断したときはいつもその時に見えなかったものだまされてしまう。私の仕事は法律家であるが、父はある自動車部品会社の経営者である。父が老年になったので五年前に父の後を継ぎ、二足の草鞋を履くことになった。三年前のことだが、大手三社の新開広告でF-1用エンジンの開発スタッフを募集したことがある（条件は英会話・数学・物理・化学・コンピュータ修徳などで四年生大学卒以上である。仕事から上記の五つの基礎科目を会得していないと、ドイツ・ホッケンハイムでの長期開発実験とプロによるテスト走行についていけなくなる。当社の担当はエンジンのバルブとシリンドラーである。そしてその開発の根底には流体力学・金属工学・熱力機関学などの高度な学問が密かに隠されているもの、何と入社条件は高校時の調査書持参である。高校時の調査書は高校

時の成績の執り方で学習限界能力と学習癖が判明するからである）その応募者の中になんと向丘卒の大学の四年生の男子が二人いたのである。二人とも東京の超一流の大学生であった。二人の調査書は抜群に良く四点三以上で、高校を無視した私のそれとは百八十度の位相差があった。以下はその時の会話の一コマである。（面接の前は私が向丘卒とは知らせていない）私、（高校の調査書も見ながら）『よく一流の大学へ入れたね！』彼ら、『僕等の高校の教育が悪く、しかも先生方が受験勉強に全く無関心なので、結局一浪しました。現在の大学には満足しています。が、本当は東大か京大に入りたいかったです。……』私、（彼らに意地悪をして）『どうして、何年でも東大と京大に挑戦しなかったの……僕も向丘卒でしかも現役ではないんだよ』彼ら、（驚いて）『エエーッ！よくあの芋学校から入れましたねえ、僕らの時現役で合格したと聞くと、短大か専門学校でした。』と云った会話が続いた。

ここで彼らの会話を『虚と実』を念頭に入れて分析してみると、  
**実**……①よく一流の大学に入れたね  
 ②『エエーッ』  
 ③僕らの高校の教育が悪く……生徒が勉強しない事は事実だが、ごく一般の普通の教育をしていると思う。  
 ④しかも先生方が受験勉強に全く無関心なので、……教師が生徒の尻を叩かないのも事実  
 ⑤結局一浪しました  
 ……勉強する科目の『基礎と基本の識別』がつけられないままいい加減に勉強していた  
 ⑥『僕も向丘卒でしかも現役ではないんだよ』  
**虚**……①僕らの高校の教育が悪く……教師への責任転嫁  
 ②現在の大学には満足していますが……満足していたら大学院などへ進学する  
 ③本当は東大か京大に入りたいかったです  
 ……夢  
 となる。結局、彼らは自分達の勉強方法が悪かったのを棚に上げて一浪したのは学校の責任だといつて責任転嫁していた。学校で受験勉強中心の授業をしてくれないのなら、自分達自ら一年生から猛烈に勉強すれば良かったのになかった。また、将来の目標が見えずなんとなく受かった所に入って

しまった。ということが言える。彼らは当時も現在も何が『虚』で何が『実』かを識別不能であった。また、向丘では回りの進学率が依然として悪かったので、彼らの心の奥底には優等生意識が存在していたと思う。何故『虚の③』を『実』に入れたかは調査書が良いので、『自惚れ+自信過剰+大きな大きな夢』がそう言わせたのだととれるからである。最近の話であるが向丘に在籍しておられた先生方や現役で教鞭を執っておられた先生方から、『勉強する生徒がいなくてねえー』という会話をしばしば耳にする。私が問一発『先生！ 鞭打って、鞭打って、鞭打ってば、駄馬でも歩むんじやありませんか？』と言うと、どの先生も『ううー、現状ではとても無理だよ！』と考えてしまう。これは正に『実』である。

「生徒諸君へ」

最近大手企業は『学歴は重視しない』『ウチの社は実力主義ですから』と言いつつも、結局それとは裏腹に『一流大学卒+有資格者』を採用しているのはご時世の皮肉であるのか。猫も杓子もなんでもいから進学をし、**営利主義の四流五流大学**などでは、学生数が減少する事を百も承知の上で、学生集めと大学建設のために、その建設予定地の地元出身の元文部事務

次官らなどを、身内に入れて、自分を総長と呼ばせるような大学を創る時世である。『**大学教育+国際国家の担い手日本**』という大義名分のためフィルターを通した結果これらの様な低級大学を生じさせてしまい、それらのシワ寄せが、結局大学の格差を明確に表面化させてきているという事実がある。

また、厚生省の人口動態調査で平均余命は世界一となり、逆に生産年齢人口が低下の一途を辿り、このままでは人口構成がいっそう逆三角形となり生徒も少なくなるのに追い打ちをかけて、学生は安易な文科系に好んでいく傾向がある。新聞などでは二十一世紀には日本でのコンピュータの技術開発するスタッフがいなくなり外人に頼らざるをえないという記事が連載されていました。こんな様でこれから将来の日本の科学技術の発展はどうなるのでしょうか。これからは、開発部門の技師や研究者・パラメジイカル・メジイカルなどの**研究部門での理科系**の間がかなり要求されてきます。

先生方にも、もっと『虚と実』を現実視戴き、生徒に向丘の進学率の恐怖と、これから進むべき彼らの進路を、厳しく把握させて欲しいものです。

「向陵祭」「合唱コンクール」「マラソン大会」などの諸活動があるが、受験期の三年生が今の日程で

それらに参加することは、受験勉強のタイムラグを招くと、進学に熱心な卒業生達は考えています。進学校への脱皮の手段として、全校生徒を対象に幾多の自校実力試験なり、代々木ゼミ、河合塾などの模擬試験を実施し、総合別、科目別、学年別の向丘チャンピオンを校内に発表するくらいの迫力を持って欲しいものです。これを『**模擬試験コンクール**』と題して導入してはいかがでしょうか。

言わば生徒ばかりが低進学率の原因とは考えられません。将来の二十一世紀に向けて、我々の『**虚と実**』はどのようであれば良い結果が生み出せるでしょうか。ハード、ソフト面、双方ともジェネレーション&パワーアップを真剣に取り組まなければ、残されるのは必至であろう。生徒諸君、しっかりとした眼差を以って目標を掴んで下さい。

## コンピュータ学習を 思い出して

匿名投稿

自分が在学中にコンピュータによる物理の授業が始まった。ドリル帳があって、○×と多枝選択による問題がコンピュータ画面に出てくるといったもので、間違えるとフィードバックして説明がでてきて、もう一度問題をやる授業で

あった。そして正誤スコアと時間記録された。教師がその結果をみて習得度を確認した。その時の教材は『円運動と波動』であった。

ただゲームを楽しんだような感じで円運動について学んだことは記憶に浅い。他人のことは分らないが、通り一辺の学習で、大学受験の時に苦手なところになってしまった。だからあまり良いものとは思わなかった。

自分でコンピュータを学びワープロをいじるようになった今日次ぎの様な教材の方が題材として適当であると思う。英単語・英熟語のドリルなど記憶を徹底するものが良い。まずデーター・ベースを作る。テキストは市販の単語帳でいいと思う。範囲や内容を生徒が指定してコンピュータが問題を出題する。解答はワープロで文を作る様に入力する。正誤を記憶させ誤ったところを再テストする完成すれば教師の手を煩わさず大受験などに役立つし、解答する時はワープロの練習にもなる。もう向丘で実現されているかもしれないが、この様な教材の方が教師や生徒の為になると思う。



# 「道」

(S58年卒)

宮城島(鹿倉) 茂

最近、向丘で君と同等の成績で一浪しても理大すら入れないからどんな受験勉強をしたらよいのかとの寄稿依頼を同窓会よりいただいた。

現在、自分はある病院で、理学療法部リハビリ科に勤務している理学療法士になる勉強をしている。ちなみに国家試験に合格する87%が4年制大学以上である。仕事と勉強に追われる毎日を過ごしている。

結局のところ滑り止めの東京理科大学 理学部 応用物理科しか受からなかったが、東大にいきたかった。向丘の成績は理数が全て⑤、英国社は日本史が④で残りはほとんどが⑤といったものだった。以上の幻想を抱かせたのだろう。失敗した人間がどんな勉強が良いというのはナンセンスである。だからエールを贈る。

『全ての道はローマに通じる』という言葉である。自分が勤め先の先生達によく注意されるのだが「限界だとすぐいうが、限界がないんだぞ。」と言いつつ換えられないし、「どんなに忙しくても時間が足りない」ということはなくて時間は自分で創るものだぞ。」ということである。また現在の自分の人生のテーマの一つだ。

たばかりの子達にどんな受験勉強をしたのか聞いてみた。返ってきた答えは「自分は受験勉強などしないので失敗した」というものだった。自分の場合は「受験勉強はしたが、失敗した」だったのだ。今の自分と同じで後輩達には方法論など役に立たないと判断した。

彼らの答えの中には「実力さえ出せば、ヤル気にさえなれば成功可能であった」という本音が見える。自分を守る逃げ道だ。失敗を嫌って失敗した自分のカッコ悪さを嫌って挑戦することはしない。考えようによっては挑戦する努力もできないほど、実力がないんだわからぬことは全て聞いて教えてもらってしまい、自分で最初から手をださなければ、失敗はしない。しかし、教わるばかりで自分から試行錯誤を繰り返さないのでは真の実力はつかない。時間的には取り返しのつかないことではあるが未知のことには挑み、失敗することは本人にとって最高の学習である。

もう限界だと自分が決めつけるが、そんなものは本人が決めたついているだけであって限界など存在しない。存在するのは物理法則に矛盾する事象が不可能であるという事実だけである。だから、「努力せよ。そうすれば全ての門は開かれるであろう」と言っているのではない。努力すること、自分がやりたい状態に向かって努力することは絶対的に失うことができな

い自分の財産なのである。『全ての道はローマに通じる』受験勉強はその一番見通しのよいみちだ。

今後、より一層社会には情報が氾濫していくので、専門化、適応化していくために高学歴+ライゼンス、特に国家資格等が重要視される時代になる。その基礎体力というべき学力は一流大学受験によってつちかわれることであろう。

さあ、がんばろう！

## 書記 山本(福永)越子 (S31年卒)

平成三年五月、同期生、川端春生氏(旧姓、三橋)が、都立大泉学園高校の校長に昇任されました。十一月七日、遅ればせながら同期の有志が声をかけ、「祝う会」を催しました。

## 川端春生氏 校長就任 同期有志で祝う会開く!

川端氏は母校卒業後、東京教育大学(現在、筑波大学)体育学部に入學。バレーボールの実力者で都立高校就任後も女子バレーを都大会のベスト3に導くなど数々の足跡をお持ちです。数年前は、ウェーブのある短髪は黒く同期の中でも万年青年だったのですが、近頃御苦労も多いとみえ白髪が目立ちました。

卒業以来の対面の人もあり、一瞬頭脳は逆回転、直様往時に遡り、和やかに賑わいました。「では、この辺でひと言を」と、



右側中央が川端氏

主催者からのお願いに立ち上がった川端氏はとても照れくさそうでしたが、自分がなぜ管理職を目指したか、その信念のようなものを話し始めました。要約はこんな具合です。

「自分たちが高校生だったころ、昭和28年から昭和31年にかけて、東京は焼け跡がそろそろなくなり、戦後の復興も波に乗る予感のようなもの、あの極端な物資不足が我々子供にも豊かになるのかなという期待はあったものの、停滞中でした。今考えれば本当にひどいものでした。

教壇に立ち、生徒と接しているうちに世の中がだんだん豊かになり、それを通り越し、使い捨てから有り余る時代になったが、高校生たちは何を考えて自分の将来を選んでゆくのだろうか。あのころの自分と今の高校生たちとの違いはなになのか。基本的に、人間に

とって大切なことというのは物の有る無しとは関係ない世界なのではないだろうか。もっと彼らを知りたい。

そう考えてみると、「部分」で働くことより、ぜんたいを見渡せる管理職になったほうがよいのではないか。

彼が心を決めたころ、東京都教育委員会は管理職の受験資格の年齢下限をずっと下げ、若い人材を多く登用する方針になりました。もちろん川端氏の人格、能力もさることながら新方針と相まって、教頭採用と校長昇任も若くして行われたようです。

### 子育て今昔

(S34年卒)

会計監査 石山(佐伯)彼早子

向丘高校に入学したのは、昭和三十一年でした。木造の二階建の校舎で体育館、講堂もない粗末なものでした。行事、式典の際は、近くの学校の施設を借りていった具合でした。その中で三年間を過ごしたのですが、今と違うことで嬉しかったことは、学習塾がなかったことです。思いつきりスポーツに打ち込めたことです。いつ頃から今のような状態になったのかわかりませんが、異常な感じがします。日本経済の高度成長がもたらした歪みでしょうか。一流企業に就職するために一流大学を出てそれには進学校をと、幼稚園の頃

話しながらしきりに彼は照れるのです。それもそのはず、まわりの男たちは、大きな声では言えないことなどいっしょにやった仲間なのです。高校生という年頃は早く大人の世界を覗きたい。でも大人の作った体制には納まりたくない。そんな気持ちのハケ口で大人り小なり悪いことをするので。このささやかな悪事の体験が生徒たちを理解するときの材料となり、話のわかる先生、良き相談相手として高校生に慕われているのでしよう。頑張ってくださいね。我が同窓生の川端校長！

心からのエールを送ります。

から親が引いたレールに乗せているように割り切れないものを感じます。教育産業が繁栄し、親は年々増えていく教育費の捻出に頭を痛め、パートに出て収入を得、子供をカギっ子にし、どこか狂っているようです。豊かになった生活のゆとりと兄弟が少なく親の目が行き届き管理しすぎる環境が成せることなのか……。

古き良き時代(?)の素朴な暖かい長閑な環境に戻れたらと今更ながら思います。

### 第一回ホームカミングに参加して奮起一番に期待!!

(S40年卒) 杉浦 重治

1月26日ホームカミングということで久々に母校の門をくぐりました。現・元校長、先生及び27年から18年卒までの同窓生、総勢34



ホームカミング会場風景

名の出席のもとで行なわれました。新城校長より当校の現況についてご説明をうけ、都立高校全体についての世間の風評が、まさに当校においてもあてはまり、大きな課題になっていることが分かりました。

当校の卒業生としては、当校はもちろん、都立高校全体の劣勢は非常に残念で、聞くに忍びないことです。

現場の先生方のさらなるご指導のもと、発展向上することを念願するしだいです。

社会の様々な分野で活躍されている同窓生の方々とのお会いは大変有意義なものでした。これからめられればと思っております。

最後にこのような場を設けて下さいました同窓会役員及び学校関係の方々には厚く御礼申し上げます。

### マリオンに誘われて

(S27年卒) 小谷(西)みどり

何気なく朝日新聞のマリオンに目を通していた私は、向丘高校同窓会の記事に思わず、どきどきして、早速級友の木村(川島)さんに電話。きつと若い人ばかりよ、と、しぶる彼女を無理矢理連れだしての三十八年振りの出席。立派になった校舎、体育館でのパーティやはり、我々が最古参と言う歳でしたが、皆様に本当に暖かく迎えていただき、なつかしさと感動で学生時代がよみがえった楽しい一時でした。田中先生にも卒業以来初めての再会。若々しく御元氣なので、びっくり致しました。

私たちの学生時代は、何といっても物は乏しかった頃でしたが、心は純粹で大いに青春を謳歌したものです。三十八年間一度も訪れなかった母校ですが、やよい会会長さん・先生方・幹事の皆様の地味な活動で続けて来られた事に改めて敬意を表します。今後何らかの形で、少しでもお手伝い出来ればと思います。

やよい会の益々の御発展をお祈りいたします。

初恋の胸おどらせしこうていの

隅にたすめば青葉さやけく

三十八年のタイムトンネルくぐりぬけて

今、校長室に恩師のやさしきまなざし

青春のやさしき真よみがえり

訪なう我等は五十路の乙女

### 自分達が楽しむ同窓会

(S59年卒)

会計 千田(樋口) 二仁江

同窓会の手伝いを始めて八年、あつという間の年月です。始めのうち、同級生や後輩達と楽しく参加していましたが、いつの間にか顔も知らない卒業生達と総会の準備をしています。役員の中で一番年少という事もあってか、新卒幹事のまとめ役をしています。毎年どのような幹事に会えるか楽しみにしています。

一昨年の幹事たちの努力も素晴らしく嬉しかったのですが、今年の幹事も頑張っていました。おだてるつもりはないのですが、盛り上がり自分達が楽しみながら参加していたのです。仕事の関係で小・中・高校生に接していますが、どうして?なぜ?と思うのが、無気力で甘えて

# 懇心会

## 新幹事の諸感想

### 幹事として初参加

(H3年卒) 松崎 尚之

今年卒業した僕達にとつては、今回の総会、懇親会は初めてのものでした。在学中にも、このような会があることだけは知っていましたが、まさか自分が幹事としてこの会の運営に携わるとは思ってもみませんでした。ですから、幹事をやることになったときには、「いろいろと大変な仕事をやらされるのでは」と、困惑や不安、そして、幹事をやることに對しての不満で、頭の中がいつぱいになっていました。僕は、もともとそうだった真面目そうな会合は好きではありませんでしたし、大学に入学して間もなかつたので、そちらの方が忙しく大変で、さらにこちらの方が母校である中学校の同窓会の幹事もまかされてしまったので、どうしたらよいか困っていました。そのよ

うなわけで、総会・懇親会の前に行われた幹事会・役員会にも出席すべきかどうか迷ったのですが、欠席するわけにもいかず、とりあ

ず出席してみました。カタイ雰囲気はなく、多少なりとも安心しました。

そして当日になり、朝十時から準備にかけつけ、準備を済ませたが、始まってからがまた大変でした。幕の上げ下げ、時間の心配など、幹事一人一人にいろいろな仕事がありましたので、席についてゆつくりしている暇などほとんどなかつたように思います。そうこうしているうちに会は終わり、後片付けを終えたときには「やっと終わった」という安心感と精神的疲労でクタクタになっていました。

最後にこの会合に對する感想は「人数の割には楽しくできる」ということです。人数は少ないですが、結構皆さん楽しんでいたようです。もっと人数が増えればさらに良い会合になると思います

### 盛り上った抽選会

(H3年卒) 水野 由美

最初の幹事の集まりの時、多少の不安もあったが、会長さんを初めOBの方々が一生懸命総会の打合せをしているのを見て、私も頑張ろうと思った。幹事の集まりは二、三回だったものまあまりは良く、総会に向けて着々と準備は進んだ。

総会の当日、天気は最悪にも雨になった。その為、総会に来てくださる人数が気になったが、人は百人近く集まった。雨も小降りになり総会は始まった。最初は盛り上がりがいまいちなかと思っていた。そのうちカラオケが始まり、マイウエイを気持ち良さそうに歌って私達を笑わせてくれたOBのかた、川瀬先生も負けじとコーラス部の人みたいな歌声で上手に歌って下さった。カラオケで一気に盛り上がり、〇×クイズ、抽選会で更に盛り上がった。皆、景品当

てに夢中になった。第一期生から四十三期生までと年齢層は厚いけれど、皆一緒に母校で楽しむことができて嬉しかった。



△幸運者、中味はナァニ…?



# 特集 総会

## 育てよう!! やよい会

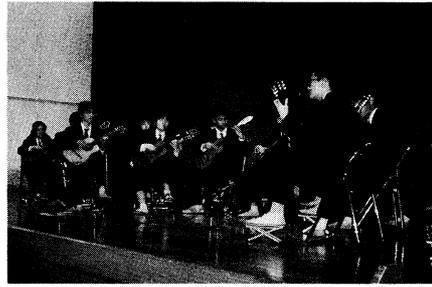
(H3年卒) 栗田 裕美

卒業してまだ一カ月半、そんな時に向丘の同窓会『やよいかい』は開かれました。幹事の仕事は色々大変でしたが、今年の卒業生幹事はずっと友達だった人ばかりで集まりなども楽しくできました。これに参加した方に楽しんで頂けたなら苦労したかいがあったと思います。

また、高校を卒業した様な気がしない私ですが、幹事の仕事をしているうちに、本当に卒業して同窓会生になったんだな、と、思えてきました。そして短い高校生活三年間を向丘で過ごせて良かったと思います。これからも三年間を向丘で過ごした人達がやよい会に入ってもっともつとこの会が大きくなる嬉しそうです。ただこの会



△若い仲間たち



△素敵な演奏、ギターアンサンブル部

はなぜか人が集まりません。皆さんに誘いあってきてほしいです。とても素敵な会なんです。最後に色々教えてくださいました。皆さん、有り難うございました。



△豪華な料理で舌づつみ

## 『同年代の卓料理に満足』

四月二十九日「向丘の思い出」  
(H3年卒) 猪飼 正臣

この学校に、定期総会と言う、第一期生から、今年卒業した僕達第四十三期生まで、全ての向丘卒業生が顔を合わせる会があるという事は、とても素晴らしいことだと思えます。

しかし、実際！定期総会では、回りは、おじさん、おばさんばかりだと思っていたけど、年齢ごとに、テーブルを分けて、同じ年代の人達と話し合えたのが良かった。また、想像していた以上に、料理が素晴らしいで、お酒も沢山あり懐かしみながらのっている人達

## 『思い出に残る一日』

(H3年卒) 星 文彦

の姿を見てとても楽しかった。アウトアクションも、カラオケやウルトラクイズ、そして豪華な賞品、とても面白かった。ただ一番の心残りには皆が欲しかった、ハンディ・カラオケを、親に連れられてきた子供にもっていかれたことです。まさに、トンビに油アゲをさらわれた気分でした。だけど本当に楽しい一日でした。

いわゆる「初体験」させてもらった訳ですが、私はほとんどやることもなく、コバンザメのように皆がいく方向に「そそくさ」とついていくだけだったような気がしました。

当日の雨模様は、私達の心に不安を募らせたと思います。しかし、午後になると雨もあがり、総会開始の時間になると太陽が照り始めました。これは、会長さんをはじめとする諸先輩幹事の方々の日頃の努力の結果といえるでしょう。

会全体としてはカラオケの企画はとても良かったと思うのですが、ノリがイマイチではなかったかと思えました。これは私たちがもう少し努力しなければいけなかったのではないのでしょうか。反省点の一つといえるでしょう。

来年以降も、先輩OBとして出る限りの協力を惜しまず頑張っていくと思います。



向丘高校同窓会総会、懇親会

◆総会次第

- 一、開会のことば
- 二、校歌斉唱
- 三、会長あいさつ
- 四、名誉会長あいさつ
- 五、議長選出
- 六、議事

- ①会務報告 平成二年度
- ②決算報告 平成二年度
- ③監査報告 平成二年度
- ④事業計画案 平成三年度
- ⑤予算案 平成三年度
- ⑥役員改選について
- ⑦その他

◆懇親会次第

- 一、開会のことば
- 二、会長あいさつ
- 三、来賓代表のあいさつ
- 四、乾 盃
- 五、懇 談(スピーチ等)
- 六、アトラクション  
ギターアンサンブル部演奏  
ゲーム大会
- 七、抽選会
- 八、閉会のことば

会務報告

◆役員会(幹事会含む)

- H2、4、2 総会準備の打合せ
- 4、23 総会懇親会の最終打合せ  
名簿を学校側へ各学年に  
10部つつ贈呈を決定
- 6、7 総会の反省会

◆総会

H3、3、30 ホームカミイングの打合せ  
総会準備の初会合

H2、4、29 総会、懇親会開催  
家族的で盛会におわる。  
(会員72名客員12名参加)  
総会参加者全員にスナック  
以外の写真を送付

◆名簿発送

H2、4、1 名簿作成業者(関西西廣濟堂  
から申し込み者に一斉に発  
送(総数約1400部)

◆ホームカミイング会

H3、1、26 向丘の現状、将来への希望  
展望等の話題が交わされ、  
懐かしい一時を語り合った  
(役員7名OB20名客員7名)  
東京スポーツ、毎日新聞に  
「恩師聞こえてくるあのこ  
え」と題し向丘版を企画し  
その際広告欄にお名前を掲  
げて頂いた方々中心にお呼  
びかけいたしました。

◆渉外関係

H2、4、10 母校入学式に会長参列した  
母校向陵祭に会長が訪問し  
参観した。

H3、3、9 母校卒業式に会長が出席し  
本年初めて祝辞を述べる機  
会を頂く。

◆慶弔関係

H3、3、10 旧教諭芳沢サカ子先生(享年  
71歳)の逝去の報に接し  
弔電を差し上げ、弔意を表  
した。

平成三年度事業計画案

◆広報誌の発行

第2号を前年発行できずに終わっ  
てしまったが、是非各位の協力(原  
稿投稿)により、完遂させたい。

◆ホームカミイング開催の継続

同窓生意識をより多くの方々に広  
め、母校愛の高揚に努めるべく毎年  
2月第4土曜日、午後6時、母校に  
て開催する。

◆同期会、同級会への助成

会員各位と同窓会本部とのつなが  
りを確かなものにするために、各開  
催に、先着順で通信費補助を行うも  
のとする。

担当幹事は会の呼びかけ者名簿と  
当日の出席者名簿、当日の報告を4  
百字程度にまとめ、様子の分かる写  
真を添えて、会長または学校気付事  
務局までお届け下さい。

〔例〕  
一 呼びかけ人数100人まで  
1人当 ¥1500円  
二 呼びかけ人数100人以上  
1人当 ¥1000円を目安とする



〔役員紹介〕

- 会長 小川力洋
- 副会長 三田昌男
- 書記 山本越子
- 書記 岩崎京子
- 会計 千田二仁江
- 会計監査 石山彼早子

定期同窓会総会・懇親会のご案内

日時：平成4年4月29日(水) 午後1:00~4:00  
場所：母校体育館 (受付、12:30~)  
会費：2,000円——(当日受付)  
(但し、3年3月、4年3月卒業生は¥1,000)  
お料理、飲物、ゲーム大会、大抽選会等  
申込：同封のハガキ又は官製ハガキで  
お名前、卒年、住所、電話、勤務先名等明記のこと。

緊急報

第二回ホームカミイング  
(学校訪問)のお誘い

日時：平成4年2月22日(土) 午後6:00~8:00  
(受付 5:30~)

場所：母校会議室(4階)

会費：無料(軽食を用意致します。)

目的：すべての同窓生に学校を開放し、現役、OB、諸先生と今昔、明日を語り合い、相互発展に役立つとするものです。

申込：同封のハガキで2月15日必着でご返事下さい。

〈問い合わせ、連絡先〉

事務・学内 千葉先生 TEL.3811-2022、FAX.3812-4055 小川会長宅 TEL.&FAX.3893-9793

平成2年度会計報告及び平成3年度予算案

同窓会役員一覧

区分	2年度決算	3年度予算
☆収入の部		
入会金(364名)	1,092,000	1,080,000
総会費(当日会費)	99,500	150,000
雑収入(利息他)	44,950	50,000
名簿売上	63,900	
繰越金	3,822,111	2,946,568
<b>収入合計</b>	<b>5,122,461</b>	<b>4,226,568</b>
☆支出の部		
交通費	17,000	50,000
通信印刷費	21,661	100,000
会議費	50,184	100,000
総会費	453,019	450,000
渉外費	15,000	30,000
慶弔費	1,514	20,000
研究活動費	...	650,000
振興助成金	114,535	200,000
名簿委託負担金	1,500,000	
雑費	2,980	10,000
周年事業準備金	...	200,000
子備費	...	200,000
<b>支出合計</b>	<b>2,175,893</b>	<b>2,010,000</b>
<b>次年度繰越金</b>	<b>2,946,568</b>	<b>2,216,568</b>

顧問

石章二郎 歴代校長  
 佐々木益男 〃  
 藤黒 正明 〃  
 金井 量二 〃  
 原 隆男 〃  
 平塚寛次郎 〃  
 新城 昇 〃

名誉会長

池永 武昭 校長

参与

湯浅 征司 事務長  
 河上 一雄 教頭  
 小野 正喜  
 春山 隆男  
 水山 清  
 渡辺 節子  
 川口 政利  
 太田垣光宏  
 松並 滋  
 千葉 豊 事務局担当教諭  
 古田 真 〃

会長

小川 力洋 (31年卒)

副会長

三田 昌男 (31年卒)  
 清水克多郎 (48年卒)

会計

荒川 雅司 (30年卒)  
 里見見千子 (55年卒)  
 (旧姓古米)  
 千田二仁江 (59年卒)  
 (旧姓樋口)

書記

山本 越子 (31年卒)  
 (旧姓福永)  
 岩崎 京子 (34年卒)  
 (旧姓吉田)

会計監査

石山彼早子 (34年卒)  
 (旧姓佐伯)  
 足立 朋彦 (48年卒)

◎上記のとおり決算報告いたします。平成3年4月29日  
 会長:小川 力洋 ◎ 会計:荒川 雅司 ◎  
 里見見千子 ◎ 千田二仁江 ◎  
 ◎監査の結果誤りの無いことを認めます。平成3年4月21日  
 会計監査:石山彼早子 ◎ 足立 朋彦 ◎

「やよい」について

当同窓会は、平成元年4月29日の総会で会の略称を「やよい」と決めました。「やよい」とは、校歌の歌詞の唄い出しの頭です。又、向丘弥生という土器の発掘の地にもあやかっただけです。会報の名称にも使いました。

訃報

旧教諭、芳沢サカ子氏(享年71才)心筋梗塞にて、H3年3月10日逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

〓〓〓〓

お店タウン情報

▽注文から修理までの家具のことは小川力洋会長のところへ相談しましょう▽向丘二丁目のおそば屋さん『長寿庵』は荒川会計さんの経営です▽甘味として有楽町線、「護国寺」駅前にある『甲月堂』月光殿モナカが有名です▽カメラDPEのことは丸の内線「新大塚」駅前の『カザマ金港屋』▽お見合い写真のことは春日二丁目バス停前『あざみ写真館』へ▽人間、一度は必ずお世話になる『山崎葬儀社』本駒込にあります。  
 以上すべて本校卒業生のお店です。この他にも色々な所で活躍しています。是非利用しましょう。  
 「他薦、自薦で事務局まで」情報をおよせ下さい

あとがき

今回初めて名簿上の住所判明者全員に発送を試みました。本来あるべき姿だと存じますが、逐次、改革へと努力中です(乞知未届者)ホームカミング(学校訪問)は縁遠くなり立寄り難いすべての同窓生、関係諸先生方へのお呼びかけです。趣旨をご賢察頂きましてお申越下されたく願います。ご多用中、ご寄稿快く願えまして誠にありがとうございます。

【表紙題字は小川会長書です】